

たのであるが、キリシタンだといはれたために、子孫は久しく其姓を秘してゐたといふことを浪岡具雄氏から承はつた。

予はこゝ前に紹介した際に橋本の地圖を以て兩半球圖の初見であるといつた、處が橋本氏に先ち寛政四年に司馬江濱の地球全圖が兩半球圖として日本最初の銅版世界地圖として出してゐる、いづれそれは後日誌上で紹介するが、橋本の世界地圖に比べてやゝ違つた所がある又橋本氏の如く地圖誌を「しるしてゐない又「不與買人」と題して發賣をしないことが明にしてある。従つて世上に流布した世界兩半球圖としては橋本の方を推さねばならぬ。けれども兩半球圖は、橋本氏著が先鋒ではなかつた。又グロブラー圖法ではなく、平射圖法であつたことも併せてこゝに明記して、前號の誤を正し知友藤田伊人君の注意を感謝しておく。因に藝齋會は會費三回であるといふことである、東京神田、錦町三ノ一八オーム社に申込まれたい。(藤田)

### ○北ローデシヤの産業

北ローデシヤの面積は二八七、九五〇平方哩、ウガンダの約三倍、ニヤザランドの六倍もあるが、人口は百五十萬人と推定される。土人の數が正確でないからわからぬが、一平方哩、五、六の密度だから人口稀薄といふべきである。一九二九年歐人は約一萬人を超過したが、鑛業が盛になるから、五萬人位にはなるらしい。

農業は主として地方的需要を充たす爲の食料品栽培に限られ烟草と玉蜀黍を輸出する。棉花栽培も見込があるが、害虫

の被害が大きい。玉蜀黍と輪作に適するから將來がある。試験的にコーヒ、落花生、サイザル、パピルスがある。何分海外への運送費用が嵩むために發達を阻害するが、歐人經營の農作地は六七、二〇四英町に達し、輸出品として烟草が主であり三、二三二エーカーを作る。

家畜として牛は四七二、五三〇頭土人所有が多い。チエチエ蠅の害をうけない牧場もあるから將來は牧畜も盛になるであらう。バタは年々五五〇磅を輸出してゐる。

農業よりも鑛業はこの地方の財源で銅と錫のみで輸出額の八割に達する。最近まで南アフリカ會社の手にあつたが、目下は保護領になつた。現在、銅、鉛、錫、雲母、バナデウム、マンガン、鐵鐵が探掘されてゐる。其資本一〇、〇〇〇、〇〇〇磅に近く過去五ヶ年間銅と錫と鐵とマンガンは確實に増産した。

水力發電が土地開發に役立つので、ウイクトリヤ瀑に百二十萬馬力の發電所があり、其他の小發電所を合せて一九二八年には八、九三五馬力を供給した。日本からシャツ類の四分一位は輸入されてゐるらしいが、英米との取引は多い。

### 質疑應答

問。北海道の豆はアメリカでどうなるか。 京都 T生  
答。北海道から出る豆のうち長鶏、大手亡、中長鶏は主と

してアメリカへ行きます、近年朝鮮間島産の小手亡も段々輸出されます、之と競争する豆は米國シガン地方の White beans で、他國ではチリ、ルーマニヤ、ハンガリー方面からのものが重です、米國では豆の作付が大抵百六十萬英町一千七百萬ブツセル、この價格五千萬弗見當です、勿論相場で七千萬弗以上になる年もあります、所が最近三年間豆の外國からの輸入を見ると左の如です。

日 本	一八三、四三九	一九二八	一九二九
フランス	五三、五三三	一、二二、六六九	二、四、〇八一
イタリー	四〇、九三〇	八五、二五〇	三〇一、三三〇
チ リ	二二六、八四七	二五、〇三三	四四、八六五
ベルギー	二八二、四四四	七五、三〇〇	一、〇〇一、九四四
		八六、八五三	一、九、六五五

まづかうした表を見ると日本が斷然頭角を現はし一九二八年には四千萬封度、價格二百萬弗を超過しましたが、一九三〇年度はやゝ減少しました、關稅の關係です。しかし米國內の豆の生産は需要の増加に應じきれないのみでなく、一九三〇年は不作でしたから、本年度の外國からの輸入は増加する見込です、さうした他國品の中で本邦品は首位であります、それは主として罐詰にされるのです。米國では不作でしたが一九三〇年度に北海道は豊作で、平作三萬五千噸が七萬噸にもなつたので、豆の價が下落しました。しかしシガン産よりも本邦品は高價にうれます。

關稅は一九三〇年に乾豆に對し、舊稅率一封につき一仙四分三から三仙に引き上げられたので、本邦商人も困りました、豆價の下落につれて米國人の需要が急増したので本年二月までに北海道の豆は輸出の半分約二萬噸を處分しました、しかし關稅の高いのはいづれ將來に影響するでしやう。

日本産の豆は先方で煮沸し豚肉と交ぜて罐詰とする Pork and beans と云ふ料理が、米國人の最も嗜好するもので、多數の米人は、肉食のため糖尿病にかゝるので、醫者が蛋白質の多い豆を食することをすすめますので、價も易くて營養が多く、且通俗な食物として民衆向となりましたから、三罐(半封度物)二十五仙位で飛んでうれます。そこであちらには日本豆の罐詰業會社がニュージャージー州カムデン市、バッファロー市やボストン、フィラデルフィヤなどにできて輸入豆を大口に消費してゐます。北海道品は検査が嚴重で、新舊の不揃がなく品質均等であるので喜ばれます、豆が一年も蓄くなると硬くなつて、新しい豆と混入すると致え切らない、大量に煮沸罐詰にするのに邪魔になります、そこで日本品にさうした不都合がないために米國の取扱業者に喜ばれます、チリーの産は競争者ですけれども、只今の處其影響はありません。米國人の需要は日本品に向つてゐますから、將來も有望な物産であると思ひます。朝鮮の小手亡は北海道程に検査が嚴重でありませんで、品質がおちるといひます。これも當路の人の改良をまつて賣行も好望に向うこと、信じます(F)